

— 神田外語大学言語科学研究科 公開講座 —

2022年7月2日（土）15：00～16：30

『 隙間言語学のススメ

～隠れた意味、現れ出る意味～ 』

講師：岩本遠億（言語科学研究科日本語学専攻長・留学生別科長）



□対象 言語研究、言語教育に関心をお持ちの方

□参加費 無料

□使用言語 日本語

□場所 ZOOMによるオンライン開催

□お申込み

下記URL、またはQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/IKfSRSNk79LIQj7V9>



□お申込み期限：6月28日（火）

- ・入試説明会にお申込み済みの方は申し込みは不要です。
- ・お申込み期限後に、ご登録のメールアドレスへご参加用のURL等詳細をお送りします。

※同日13:30～14:30 本学大学院説明会を開催いたします。
詳しくは以下をご覧ください

☑神田外語大学大学院 入試説明会

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/opencampus/extension/>

☑神田外語大学大学院ホームページ

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/faculties/graduate/>

神田外語大学言語科学研究科 公開講座

『 隙間言語学のススメ ～隠れた意味、現れ出る意味～ 』

言語科学研究科日本語学専攻長
留学生別科長

教授 岩本遠億



外国語を勉強していて、単語の意味は全部知っているし、文法も分かっているのに、何となく文の意味が掴み切れないということを経験したことはないでしょうか。例えば、次の英語の文に含まれる単語も文法も全て中学校で習うものですが、その意味を即座に答えられる日本人大学生はほとんどいません。

(1) There was dog all over the street.

これについては、「"The were dogs all over the street"の誤りではありませんか」と多くの人が質問しますが、これは英語として正文で、「道一杯に犬の肉あるいは破片が散らばっていた」という意味です。しかし、「肉」とか「破片」という語はこの文には含まれていないのです。次の日本語の文はどうでしょうか。

(2) (見知らぬ人に道を尋ねる)

「この辺に芸能の神様があると聞いたんですが。」

これについても、日本語学習者の多くは「『芸能の神様がいる』の間違いではありませんか」と尋ねます。日本語母語話者なら「芸能の神様を祀る祠がある」と理解しますが、(2)には「祠」という語は含まれていません。

このように母語話者は、文に含まれていない語の意味を無意識のうちに補給して文が整合的な意味を表すように調整しています。一方、学習者はそのような意味補給の規則を知らなければ、「正確には文の意味が掴めない」という状態に陥るのです。

今回の公開講座では、日本語と英語、さらに他の言語の例も分析しながら、言語それぞれに「意味の隙間」を埋める意味補給の規則に個別のパターンがあるということ、そしてそれが言語理論の中でどのように捉えられるかということについて見ていきます。

言語や言語教育に興味がある方々のご参加をお待ちしております。